

# 開西

帯広市立開西小学校 学校だより

令和2年10月30日 NO. 14

TEL 36-8723 FAX 36-8456

<みんなの合い言葉> 「自分が好き、友だちが好き、学校大好き開西小の子」

## 令和2年度重点目標

「みんな大好き 開西小学校 ～信頼される学校を目指して～」 <安全・安心な学校 として学びの充実へ>

## 体カテスト実施しました！

本来は、「50m走」「握力」「長座体前屈」「幅とび」「反復横とび」「シャトルラン」「上体起こし」「ソフトボール投げ」の8種目ある体カテストですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、1～3年生は「反復横とび」「シャトルラン」「上体起こし」「ソフトボール投げ」を除く四種目を、4～6年生は「上体起こし」「シャトルラン」を除く六種目を測定しました。「昨年の自分の記録をできるだけ上回ること！」を目標にして子どもたちは一生懸命各種目に取り組んでいました。

終わりの話の時に結果を聞いてみると、多くの子どもが「昨年より良くなった」と答えていました。ただ、中には「種目によっては悪くなった」と答える子どももいました。

今年は、ステイホームが続き、少し運動不足になってしまったことが記録を落としてしまった一つの要因として考えられるかもしれないと推察しました。

今後は、少し意識して体を動かすようにすると良いかもしれません。

結びとなりますが測定にご協力いただいたボランティアの皆様、ありがとうございました。



## 「プログラミング教育」って？

今年度から新学習指導要領が本格実施となり、プログラミング教育についても指導を開始しています。とは言え「プログラミング教育」とは、いったいどんな勉強をするかご存知でしょうか？

まず、プログラミング教育のねらいについては以下の様に示されています。

①「プログラミング的思考」を育むこと。②プログラムの働きやよさ、情報社会がコンピュータ等の情報技術によって支えられていることなどに気付くことができるようにするとともに、コンピュータ等を上手に活用して身近な問題を解決したり、よりよい社会を築いたりしようとする態度を育むこと。③各教科等の内容を指導する中で実施する場合は、各教科等での学びをより確実なものにすること。

次に本校の授業の様子です。下の写真は4年生の授業風景です。プログラミンというソフトを活用し進めていました。

右写真のAの地図上にキャラクターがいます。Bの部分に「3進む」や「90度曲がる」など指示をプログラムすると、Aのキャラクターがその指示通りに動いていきます。

子どもたちは指定されたゴールにたどり着くようにキャラクターが動く道筋をプログラムしていかなければなりません。

さすが今の子どもたち、試行錯誤を繰り返しながらも上手にプログラムしていました。



# 大切な命を守るために！

10月8日（木）今年度2回目の避難訓練を行いました。前回は、全校児童を一カ所に集めることを避けたために、机の下に隠れ、その後、避難経路を確認し、実際には避難せずに訓練を終えました。

ただ、「避難しないのでは訓練の効果が弱まる」「地震や災害はいつ起こるか分からない」との反省から、今回は1学年ずつ（全部で6回）避難訓練を行い、グラウンドに集合し、人数確認や話を聞くところまで行いました。

前回に比べ、かなりイメージをつかむことができたと感じました。



## さけが大きくなるまで！

10月26日（月）、今年度も十勝総合振興局や帯広市教育委員会、帯広川伏古地区子どもの水辺協議会（帯水協）、地域町内会の協力を得て、2年生を対象とした「サケの人工受精体験授業」

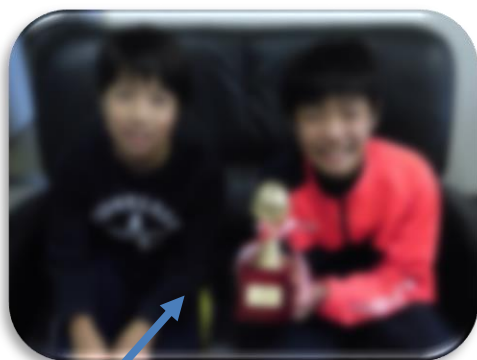
を実施しました。

2年生がこの授業の中で人工受精したサケの卵については、児童玄関にある水槽で来年の4月まで育て、3年生になった子どもたちとともに帯広川に放流します。

今回受精させた卵の80%ぐらいが稚魚になるそうです。これから子どもたちと観察しながら育てていきたいと思います。



## がんばる開西の子

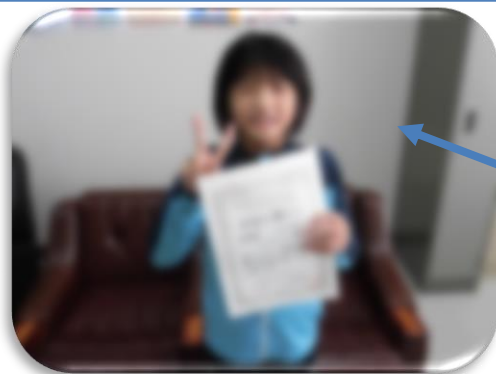


第44回全日本U12サッカー選手権大会  
北海道大会 優勝  
プログレッシブ十勝FC  
大嶋 祐翔 岡田 稜平

珠算検定  
七級合格  
阿部 琉生  
  
三級合格  
阿部 理来



第49回北海道選手権大会（空手）  
型試合 白帯の部 準優勝 須貝 陽真  
型試合 黄・青帯の部 優勝 大平 七弥



2020帯広市スポーツ  
フェスティバル  
ソフトバレーボール大会  
4年の部 準優勝  
レッツゴーウエスト  
大坂 友菜

